



第3回

令和4年3月27日



かまくらみらいワークショップ

(市庁舎現在地利活用版)

レポート

開催概要 Outline



第3回 かまくらみらいワークショップ

ゲームづくり②

『ボードゲームづくりをとおして未来のまち（市庁舎現在地の利活用）を考えよう！』

◆開催日：令和4年（2022年）3月27日（日）

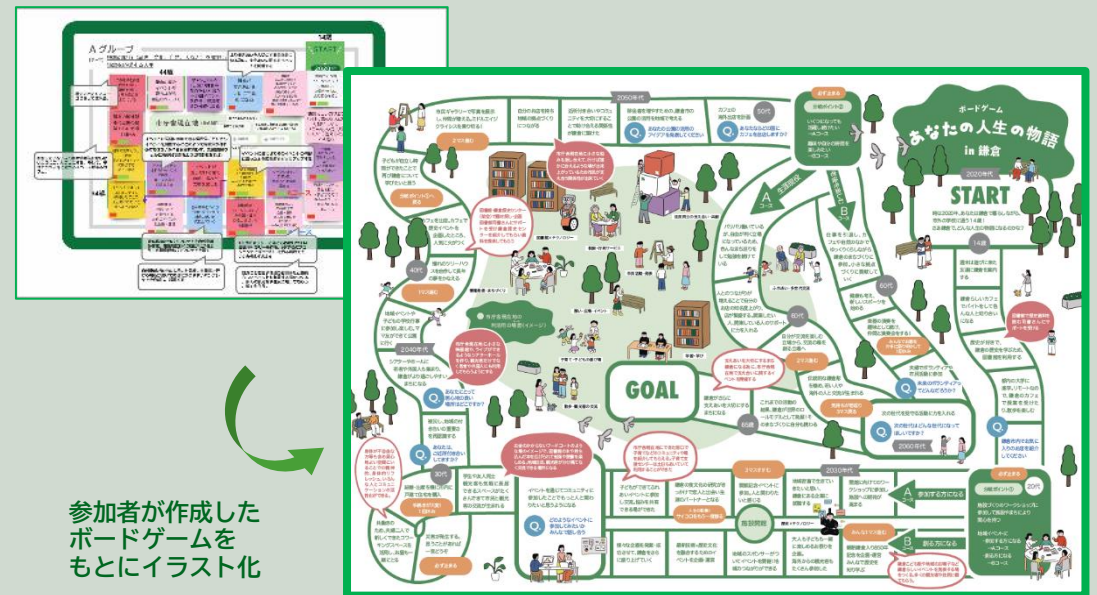
◆開催形式：オンライン（Zoom）

◆参加人数：23名

◆概要：第3回では、これまで考えてきた人生のストーリーから、「市庁舎現在地でどんなことがしたいか」、「そのためにはどんな機能があるとよいか」を考え、ボードゲームを仕上げました。実際に各グループで作成したボードゲームを体験し、遊んでみながら、ボードに意見を載せました。



ワークショップの様子



参加者が作成した
ボードゲームを
もとにイラスト化

ワークショップで作成したボードゲーム

第1部:オリエンテーション 9:30~9:50

進行あいさつ・本日の流れ

- 市長からのご挨拶/5分
- 前回のふりかえり・第3回ワークショップのオリエンテーション/5分
- Miroの使い方説明/5分
(ワークショップで使用したオンラインホワイトボードの使い方説明)

第2部:グループワーク 9:50~12:00

- 自己紹介/3分
- ボード盤を完成させよう!/100分 (休憩10分含む)
- Doingと現在地の機能を考えよう(40分)
- ゲームのイベントを考える(10分)
- 自分のグループのゲームで遊んでみよう(10分)
- 見直しをしてゲームを完成させよう(30分)
- 他のグループのゲームで遊んでみよう!/25分

第3部:共有 12:00~12:30

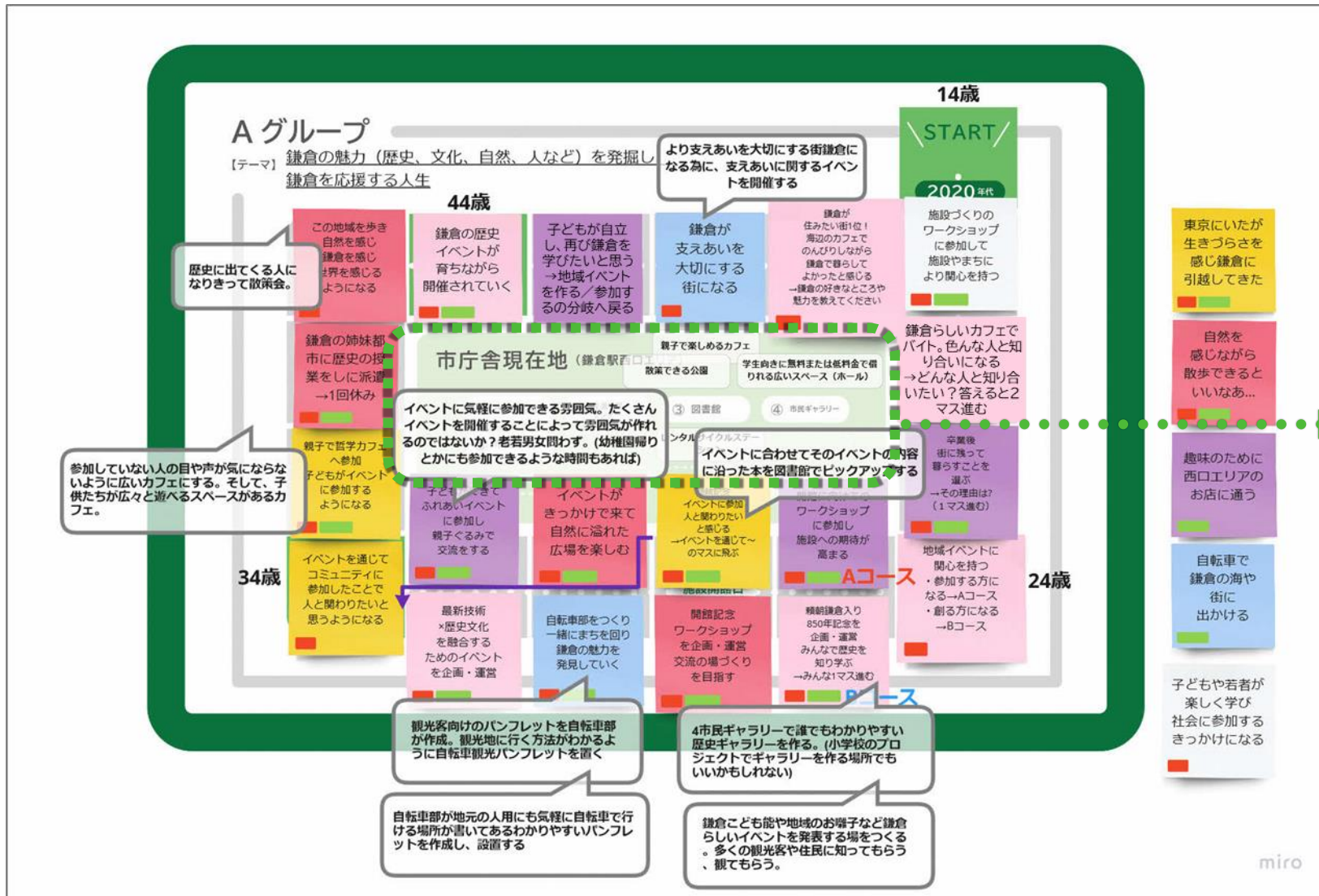
- 各グループで遊んでみた感想:2分×7グループ/15分
- 市長からの講評/5分
- おわりに/3分

■グループワーク実施結果

制作したボードゲーム

ボードゲーム盤を完成させよう！

Aグループ



新たな市庁舎現在地の機能

- ◆学生向けに無料・低料金で借りられるホール
学生が気軽に利用できるホールがあることで、学生自身が文化活動を行い、発信できるようになる。(市内のホールは大人が使っている。)
- ◆親子で楽しめるカフェ
子どもが声を出したり動いても許されるような安心して寛げる場で、つながりやコミュニケーションが生まれる。
- ◆散策できる公園
日常の散歩コースとして楽しむことができ、地域の自然に触れることができるようになる。
- ◆レンタルサイクルステーション
自転車の速度で鎌倉のまちを体験することで、新しい鎌倉を発見できるようになる。

グループワークの様子

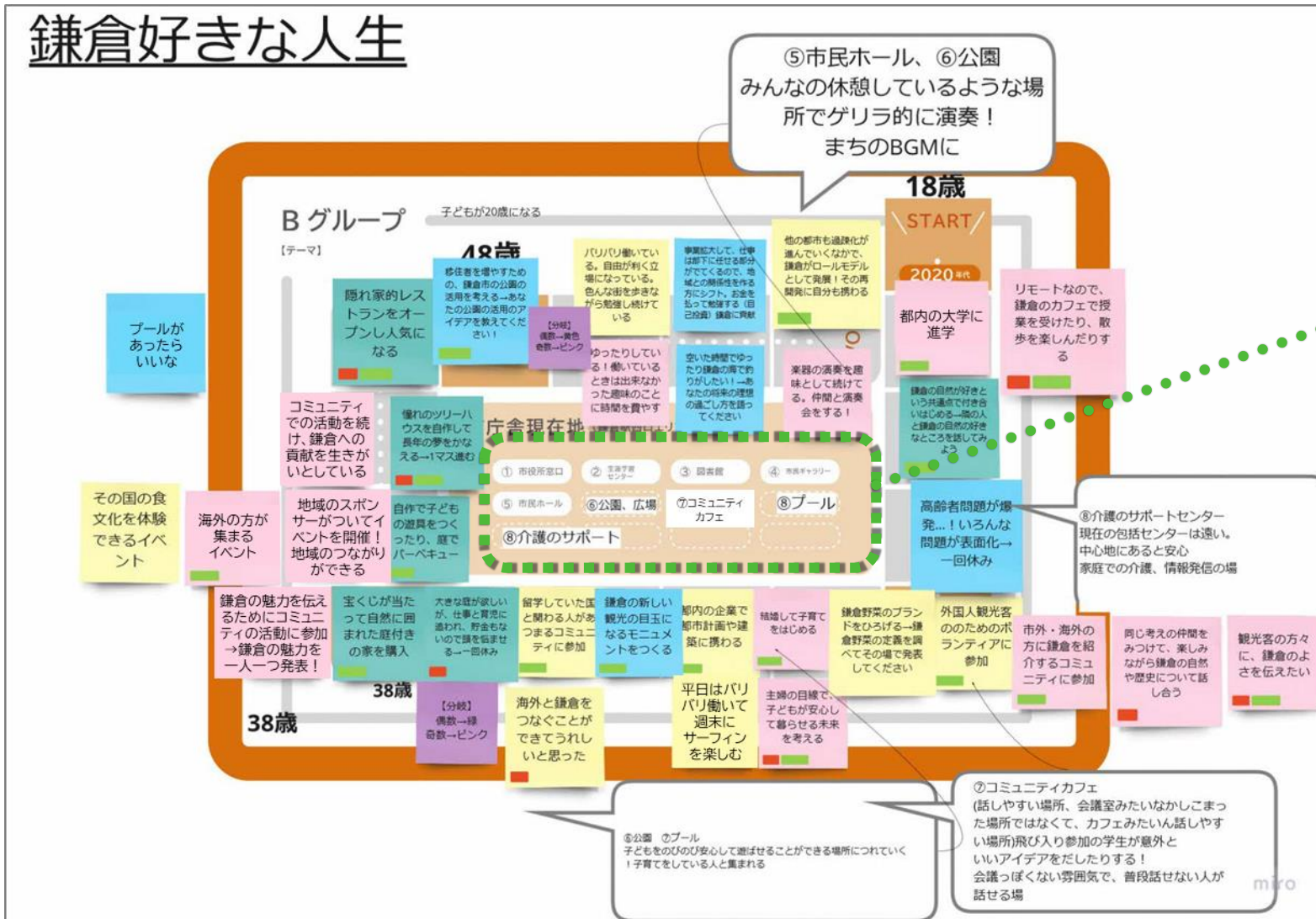
Aグループでは、5人の中高生がボードゲームの完成に向けて取り組みました。『イベントに参加 人と関わりたいと感じるようになる』、『最新技術×歴史文化を融合するためのイベントを企画・運営』といったマスを作るなど、イベントをとおして人やまちと関わり鎌倉の魅力を発掘していくボードゲームを完成させました。市庁舎現在地においても、イベントが開催され「そのイベントの内容に沿った本を図書館でピックアップ」できると良いのではといった意見や「支えあいを大切にしているまち鎌倉になるために、支えあいに関するイベントを開催」できると良いのではといった意見を出しながら、「学生が気軽に利用できるホール」、「親子で楽しめるカフェ」などの機能があるとより良いのではといった対話を行いました。

制作したボードゲーム

ボードゲーム盤を完成させよう！

Bグループ

鎌倉好きな人生



新たな市庁舎所在地の機能

- ◆コミュニティカフェ（交流の場）
かしまった場所ではなく、気軽に
参加しやすく話しやすい場。コミュ
ニティやボランティア活動の拠点に。
- ◆市民ホール、広場（発表の場）
広場やカフェなどみんなが休憩して
いるような場所で日常的に演奏がで
きて、それがまちのBGMになる。
- ◆公園、プール（子どもの遊び場）
親子が安心して連れていける遊び場。
お母さん同士の交流も広がる。
- ◆介護のサポートセンター
家庭での介護のサポートや、情報共
有の場が中心地にあると安心。

グループワークの様子

Bグループでは、高校生、大学生、社会人といった様々な年代の参加者がボードゲームの完成に向けて取り組みました。多様な人生の可能性を表現するため、ボードゲーム内に分岐を作り、サイコロの目によって、50代以降も熱心に仕事を続けていくルートと、ゆったり過ごしながら自分がこれまでやりたかった趣味や勉強を楽しむルートを選択する仕組みを考えました。一方で、選べるルートは多様でありながらも、人と交流する・地域とつながるといった点では共通点がうかがえました。市庁舎所在地の機能を考えるにあたっては、特に地域での交流や、子育て支援、高齢者支援といった視点から考え、「コミュニティカフェ」などの交流の場、「公園、プール」などの子どもの遊び場などがあるとより豊かな人生が過ごせるのではといった意見が出ました。

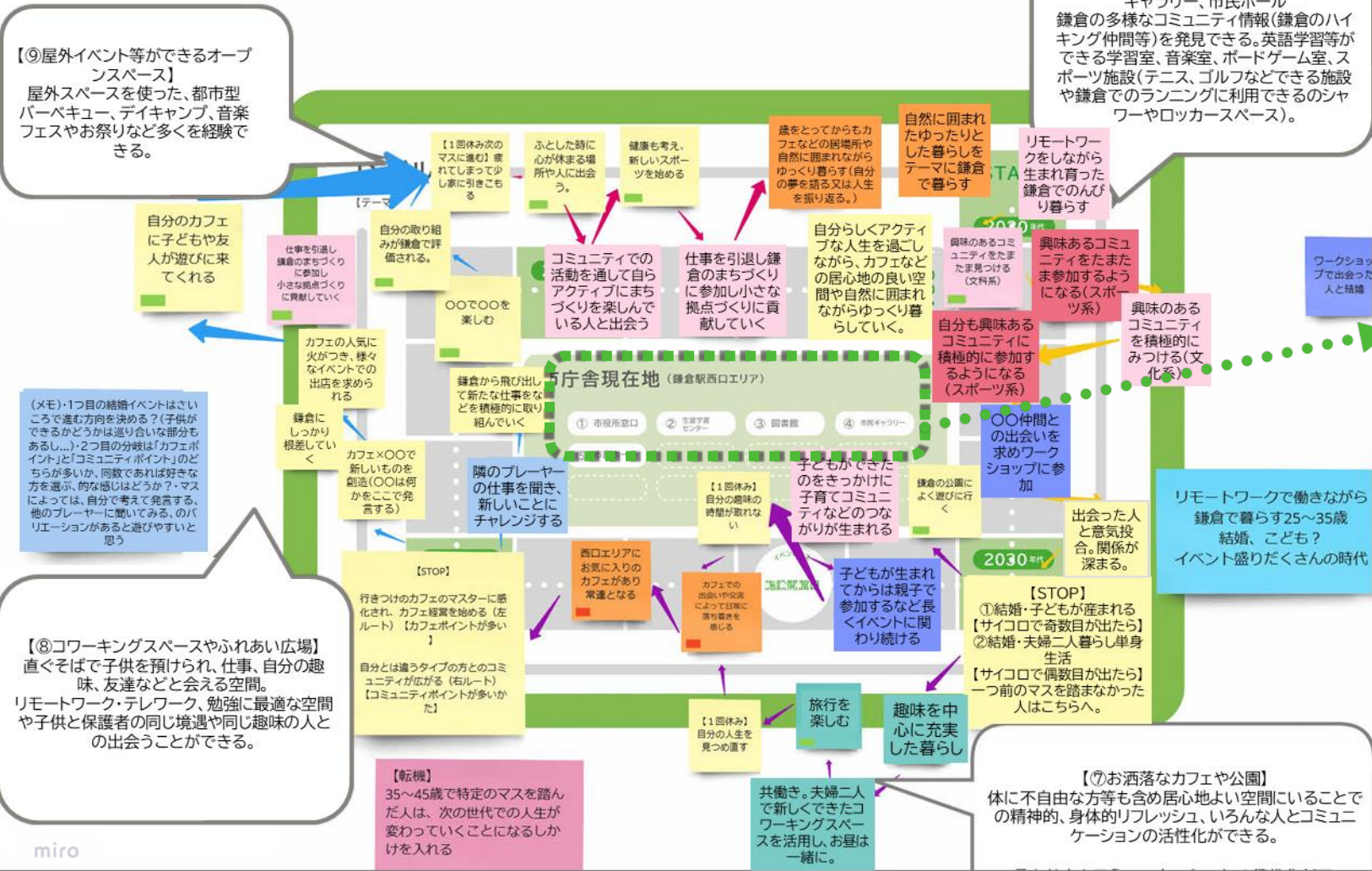
■グループワーク実施結果

制作したボードゲーム

ボードゲーム盤を完成させよう！

Dグループ

テーマ：「自分らしくアクティブな人生」



新たな市庁舎現在地の機能

- ◆鎌倉インフォメーションセンター
多様なコミュニティの情報を発見し、活動の場として活用できる。
- ◆おしゃれなカフェや公園
身体が不自由な方も含めて居心地の良い空間にすることでリフレッシュができて、色々な交流が生まれる。
- ◆コワーキングスペースやふれあい広場
子どもを預けながら、仕事や趣味、友達との交流ができる場所。同じ境遇や同じ趣味の人と出会うことができる。
- ◆屋外イベントができるオープンスペース
バーベキューやキャンプ、音楽フェスやお祭りなど、さまざまなイベントができる。

グループワークの様子

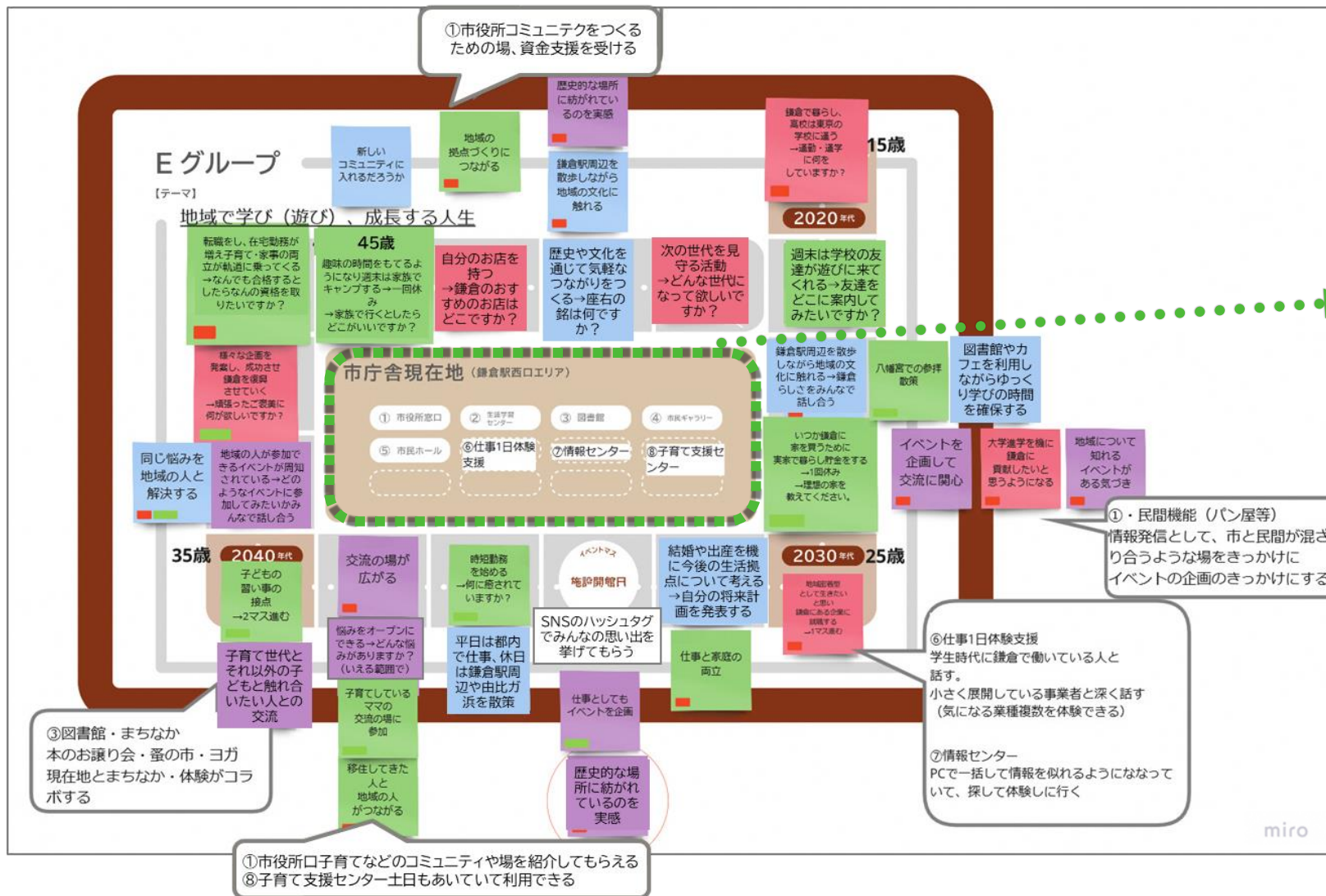
Dグループでは、20～30代の様々な趣味嗜好の参加者がボードゲームの完成に向けて取り組みました。様々な考えの参加者同士で楽しく意見交換しながら、『興味のあるコミュニティを積極的に見つける』、『行きつけのカフェのマスターに感化され、カフェの経営を始める』、『夫婦二人で新しくできたコワーキングスペースを活用』といったマスが用意された「自分らしくアクティブな人生」がテーマのボードゲームを完成させました。市庁舎現在地には、こうした人生を更に豊かにしてくれる、多様なコミュニティ（仲間）の情報を発見できる「インフォメーションセンター」、体が不自由な人も居心地がよく色々な交流が生まれる「おしゃれなカフェや公園」などの機能があると良いといった意見が出ました。

■グループワーク実施結果

制作したボードゲーム

ボードゲーム盤を完成させよう！

Eグループ



新たな市庁舎現在地の機能

- ◆**民間機能 (パン屋など)**
市と民間が混ざり合う場所がきっかけとなり、新たなイベントや交流が生まれる。
- ◆**一日仕事体験支援**
鎌倉で働いている人との接点を支援する機能。鎌倉の事業者とマッチングし、気になる業務を体験できる。
- ◆**情報センター**
上記の機能と関わり、鎌倉の企業情報などが集約され、オンラインで閲覧・情報収集できる機能。
- ◆**子育て支援センター**
土日祝日でも開いていて、子育ての支援を受けることができる。

グループワークの様子

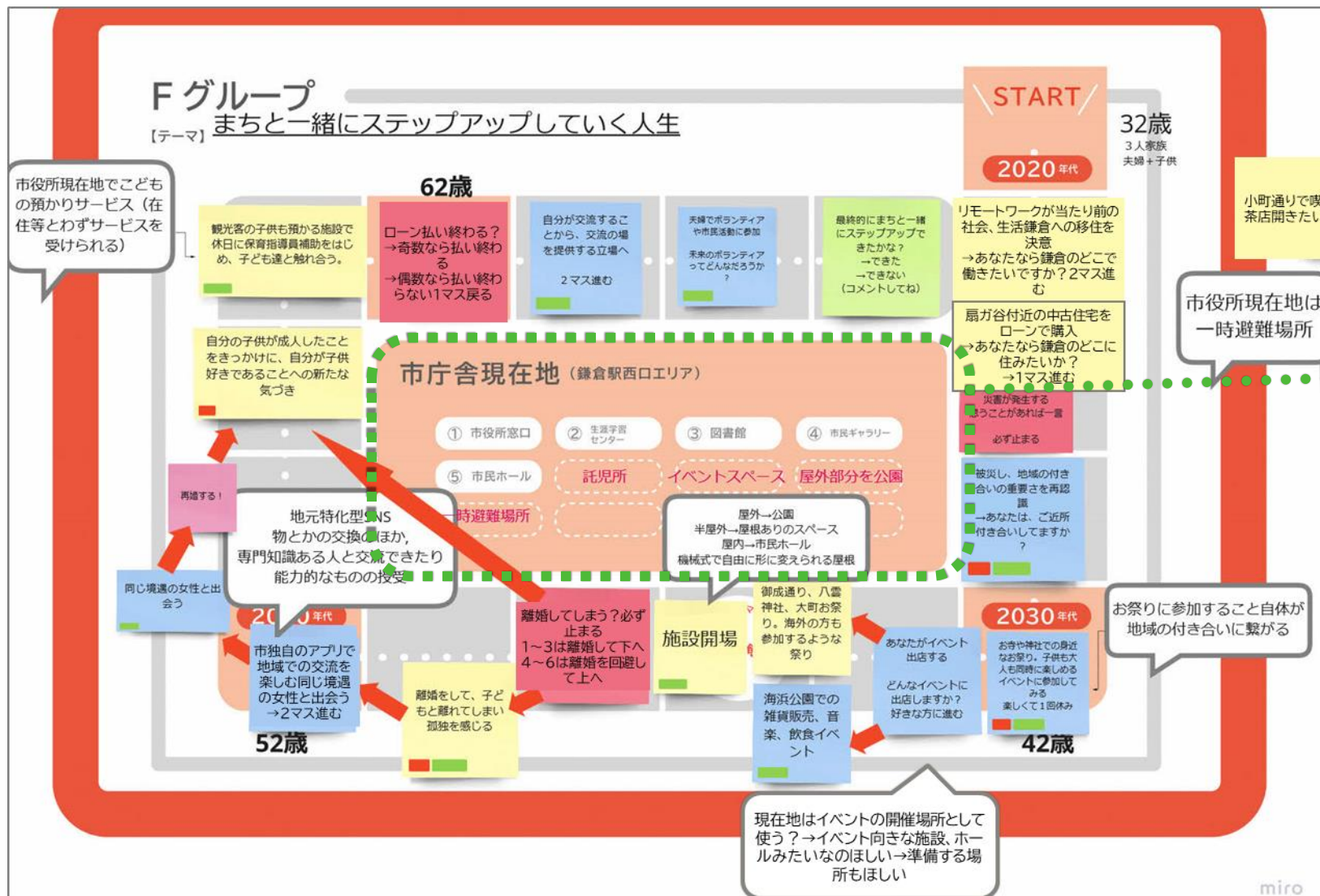
Eグループでは、20代の女性を中心とした参加者がボードゲームの完成に向けて取り組みました。『子育て世代とそれ以外の子どもと触れ合いたい人との交流』、『移住してきた人と地域の人がつながる』、『地域の拠点づくりにつながる』といったマスを用意するなど、市庁舎現在地をその敷地だけではなく、まちや後々鎌倉に関わりたいと思っているような人たちにとってもどんな効果をもたらすかという視点でDoing (どんな行動をとりたいか) や市庁舎現在地の機能を検討しました。このワークショップのような共創の機会、未来の何十年もその共創がつながっていく人生を意識し、実際に遊んだ人が新たな一面を発見・共有できるようなゲーム盤を完成させました。

■グループワーク実施結果

制作したボードゲーム

ボードゲーム盤を完成させよう！

Fグループ



グループワークの様子

Fグループでは、30代の参加者がボードゲームの完成に向けて取り組みました。『被災し、地域の付き合いの重要性を再認識』、『子どもも大人も同時に楽しめるイベントに参加してみる』、『観光客の子どもも預かる施設で休日に保育指導員補助をはじめ、子ども達と触れ合う』、『自分が交流することから、交流の場を提供する立場へ』といったマスが用意された「まちと一緒にステップアップしていく人生」をテーマにしたボードゲームを完成させました。ゲームづくりの中で出てきた意見も踏まえ、市庁舎現在地の機能としては、災害時の「一時避難場所」、お祭りなどのイベントができ、地域とのつながりや交流が生まれる「イベントスペース、公園」といった機能を考えました。

■グループワーク実施結果

制作したボードゲーム

ボードゲーム盤を完成させよう！

Gグループ

テーマ：まち・人・自然と
かかわり、交流が
生まれる、豊かな人生



新たな市庁舎現在地の機能

- ◆交流の場
(移住者・多世代・気楽に行ける)
移住者や多世代など様々なコミュニティが交流できる場。
- ◆勉強できる場
学生がのびのびと勉強できるスペース。
- ◆公園・駐車場
お祭りやイベントが開催できる公園。また市民の需要が高い駐車場も必要。
- ◆まちづくりセンター
(景観整備・開業支援)
長期的な視点で景観をつくる・守るための場所。
- ◆公共の工房
騒音を気にせず自由に使える工房でものづくりを楽しめる。
- ◆託児所
子どもを預けられるようになることで、気軽に活動に参加できる。

グループワークの様子

Gグループでは、大学生、職人、自営業など様々な立場の参加者がボードゲームの完成に向けて取り組みました。各自の経験なども交えながら活発に意見交換を行いました。ボードゲームの中では序盤で『鎌倉市民パス』という架空のアイテムを入手すると、その後『市民パスを持っている人は駐車場無料で1マス進む』、『市民パスで寺社仏閣無料拝観』といったマスが出てくるなど、市民になると良いことが起こるといった仕組みも意識しながら制作しました。市庁舎現在地の機能としても、市民優先の「公園・駐車場」、学生がのびのびと「勉強できる場」、移住者や多世代で「交流できる場」、市民が自由に使える「公共の工房」といった市民を意識した意見・アイデアが出てきました。